

ふるさと鴨島

35年のあゆみ

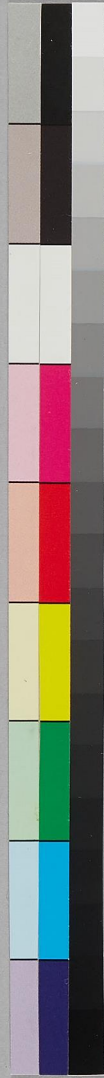


吉野川市立鴨島図書館



41110624670

鴨島町



37

鴨島町民憲章

わたたくしたちは鴨島に生きることに誇りを持ち、活力とやる気のあるまちを目標としてこの憲章を定めます

一 みんなが助け合い
明るく、所をつくらします

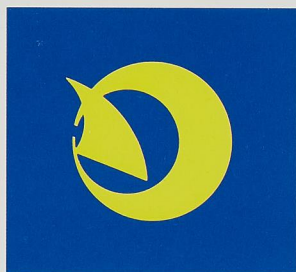
一 教養を高め
文化の所をつくらします

一 自然を大切に
美しい所をつくらします

一 心とからだを鍛え
健康な所をつくらします

一 勤労に励み
豊かな所をつくらします

平成元年三月制定



町章（昭和44年5月制定）

由来 鴨島町の「力」ちからに通じます。その文字を飛鳥形に表現、町勢将来の発展と町民相互の信頼、融和、協力、平和を象徴したものです。
また、「日・月」をも合わせ表現し、宇宙時代に力強いアクセントを付したものです。

—— 目 次 ——

鴨島町民憲章……………1	生活環境……………26
町章……………2	ふれあいと教育(学校編) ……………30
35周年を 新たなスタートに……4	ふれあいと教育(社会編) ……………32
鴨島の沿革……………6	産業・経済……………34
合併35年のあゆみ……7	わたしたちも35年……38
鴨島を語る……………20	まちかどマップ……………42
庁舎・鴨島の玄関今昔…22	かもじまの四季……………44
町の運営、議会のしくみ ……………24	私の好きな町……………46





鴨島町長 戸田 稔

35周年をあらたな スタートに

現在の鴨島町は、昭和29年3月、町村合併促進法に基づいて鴨島町、牛島村、森山村、西尾村が合併、その後東山村榎山地、柿島村知恵島の区域を編入し今日に至っております。

顧りみますと合併後数年間、鴨島町は赤字再建団体として財政的に非常に苦しい時代が続きました。しかし、その後は通信交通体系の発達・商業の多様化・農業の機械化などによる農業構造の急激な変化等、環境の変化に的確に対応し着実に発展を遂げてまいりました。

これは偏に鴨島町のため、日夜、鋭意努力を重ねてこられた歴代町長、町議会の方々、行政関係各位並びに町民の方々の、並々ならぬご尽力のたまものであると、心から敬意と感謝を申し上げる次第であります。

住民の「生活の場」としての住みよい魅力ある地域社会の創造、「生活の糧」としての安定した豊かな産業基盤の確立、そして「生活の指針」としての生きがい等を念頭に置き、今、鴨島町はすべての住民が健康で、いきいきと生活できる町を築くことを目標として、学校、社会教育施設の整備、都市基盤事業（公園・街路・公共下水道整備、農業基盤整備）、さらには町民の連帯意識高揚のための社会文化諸活動など、活力とうるおいのある町づくり、地域づくりに取り組み、着々とその実を挙げつつあるところであります。

ここに合併35周年の意義ある年を迎えるにあたり、あらゆる困難を乗り越え、鴨島町発展の基礎を築かれた先人の方々に謝意を表しますとともに、過去の足跡を新たな町づくりへの礎として残すため、その一編をまとめ記念誌として発刊することにいたしました。

ご高覧のうえ、町政に対するご理解と、今後の町づくりへのご参加の資料としてご活用いただければ幸いです。

平成元年3月26日

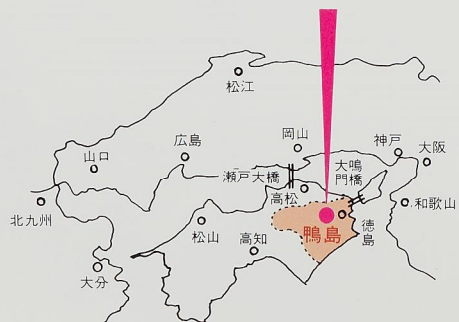
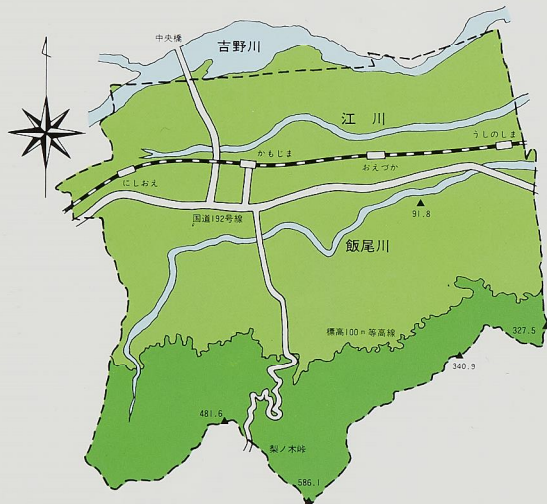


鴨島の沿革

吉野川の洪水による自然客土の恩恵と藍商人の活躍により発展した藍作も、明治32年徳島―鴨島間に県下で最初の鉄道が開通した頃から養蚕、製糸中心の町へと変った。そしてさらに、中小規模の工場が続々と建設され、菊人形、江川遊園地などの観光・行楽施設もでき、バス路線の発達により商業の町として発展した。昭和29年3月31日、町村合併促進法に基づいて鴨島町、牛島村、森山村、西尾村の1町3村が合併し、翌

30年1月、東山村榑山地、32年3月には柿島村知恵島の区域を編入して現在の鴨島町となる。

その後、製糸業は化学繊維の普及により衰退したが、県下第2の住宅団地や工業団地が誘致されるなど、都市としての形態を整えつつある。また、内陸型の温暖な気候や地理的条件に恵まれ、山地部では柑橘類、平野部では米やそ菜などが栽培されている。



合併35年のあゆみ

主なできごと

昭和29年

- 3月 鴨島町、牛島村、森山村、西尾村が合併「鴨島町」となる。町議会議員定数82人
- 4月 鴨島町公益質屋開設
- 5月 阿部永一氏初代町長に就任
- 8月 江川水温異常現象、県指定天然記念物となる
- 9月 「洞爺丸」遭難。1,183人犠牲となる
- 11月 中学校がそれぞれ鴨島第一中学校・鴨島東中学校と改称
- 12月 徳島市が児童公園を開設

〈世相〉
ヘップバーンカット流行。電気洗濯機・冷蔵庫・掃除機が「三種の神器」
(流行語)
「死の灰」。「パートタイム」

昭和30年

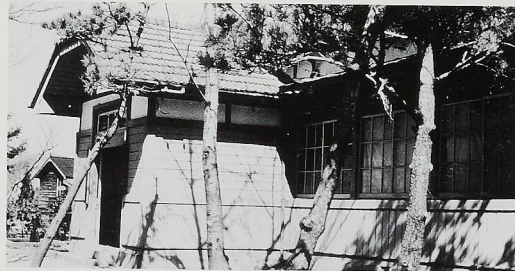
- 1月 東山村榑山地を鴨島町に編入
 - 3月 町議会議員定数30人に変更
 - 4月 旧鴨島町役場庁舎を鴨島町公民館として移築
 - 5月 旧国鉄宇高連絡船「紫雲丸」と「第3宇高丸」が衝突し沈没、168人死亡
 - 10月 河野進氏2代目町長に就任。この年の国勢調査人口、23,843人
 - 11月 三木武夫運輸大臣(当時)来町
- 〈世相〉
家庭電化時代はじまる
(流行語)
「ノイローゼ」

昭和31年

- 5月 小松島一和歌山間に「紀阿航路」開通
 - 10月 社会福祉協議会が任意団体として発足
 - 12月 国際連合に加入
- 〈世相〉
「もはや戦後ではない」の議論おこる
(流行語)
「太陽族」・「1億総白痴」



▲町村合併時の議員定数82人(昭和29年)



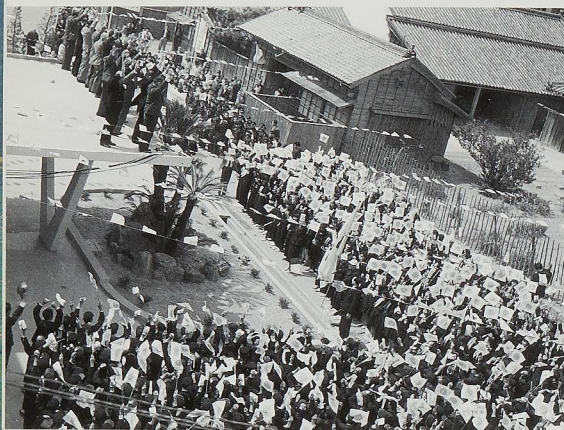
▲旧鴨島町庁舎を公民館として移築(昭和30年)



▲国際連合に加入(昭和31年)



▲来町し駅舎にて談話中の三木運輸相(昭和30年)



◆新庁舎完成を祝う町民（昭和32年）



◆東京タワー完成（昭和33年）

▼町立鴨島商業高等学校起工式



主なできごと

昭和32年

- 1月 南極観測隊、オングル島基地に上陸「昭和基地」と命名。
- 2月 鴨島町新庁舎竣工。
- 3月 柿島村知恵島を鴨島町に編入
- 4月 町立鴨島商業高等学校創立
- 6月 徳島一大阪間に航空路線開設
- 9月 鴨島電報電話局竣工
- 12月 眉山ロープウェイ開通

<世相>

日活映画の石原裕次郎に人気。「バナナポート」大ヒット

(流行語)

「よろめき」、「何と申しましょうか」

昭和33年

- 1月 南海丸、鳴門沖で沈没。141人死亡
- 3月 徳島産業科学大博覧会開催
- 12月 1万円札発行。東京タワー完成

<世相>

ミッチーブーム。フラフープ大流行

(流行語)

「団地族」・「ながら族」

昭和34年

- 1月 メートル法施行
- 2月 町天寿会結成・飯尾敷地小学校講堂竣工
- 3月 一中体育館竣工。鴨島小学校講堂竣工
- 3月 NHK徳島テレビ開局
- 4月 明治乳業㈱阿波路工場集乳所発足・国道192号線八本松一市瀬間工事着工
- 4月 四国放送テレビ開局
- 5月 堀江安一氏3代目町長に就任
- 9月 伊勢湾台風

<世相>

皇太子成婚テレビ中継で、テレビの売れ行き急増

(流行語)

「カミナリ族」・「岩戸景気」

主なできごと

昭和35年

- 1月 日米安全保障条約調印
- 3月 西麻植小学校講堂竣工
- 4月 国道192号線工事35年～36年で市瀬一中島間の整備
- 5月 チリ地震津波県南部到達
- 9月 カラーテレビ放送開始
- 10月 国勢調査人口24,119人

<世相>

ダッコちゃん人形大流行・インスタントラーメン登場

(流行語)

「所得倍増」・「私はウンは申しません」

昭和36年

- 1月 明治乳業㈱徳島工場設立
- 3月 鴨島公共職業安定所竣工
- 3月 小松島1万トン岸壁竣工
- 5月 鴨島郵便局竣工
- 7月 小鳴門橋竣工
- 9月 第2室戸台風により町内全域に被害。

<世相>

レジャーブーム。シームレス・ストッキング流行

(流行語)

「わかっちゃいるけどやめられない」・「地球は青かった」

昭和37年

- 3月 鴨島商業高等学校が県立に移管。国道新設のため第一保育所廃止。片倉製米工場閉鎖。町議会「交通安全都市宣言」決議。
- 9月 「鴨島町誌」発刊
- 9月 茨木県東海村に国産第一号原子炉ができる。

<世相>

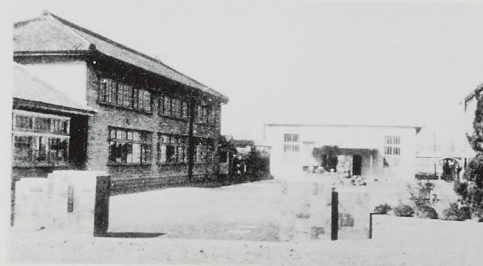
「女学生亡国論」が話題。大都市の住宅難深刻化

(流行語)

「無責任時代」



▲交通の中心となった国道192号線（昭和35年頃）



▲昭和36年当時の西麻植小学校



▲竣工当時の鴨島郵便局（昭和36年）



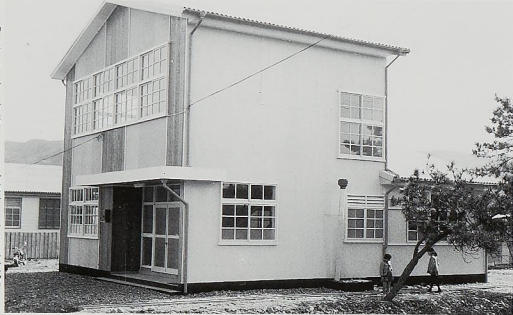
▲第2室戸台風（昭和36年）

▼国道工事のため廃止された第一保育所（昭和37年）





▶オリンピック東京大会
(昭和39年)



▶「カキッ子」対策として設置された児童館
(昭和39年)



▶小学校初の上浦小学校プール完成
(昭和39年)

▼鴨島小学校に待望の体育館完成 (昭和40年)



主なできごと

昭和38年

- 2月 東中学校体育館完成
- 4月 三輪自動車によるゴミ収集開始
- 4月 徳島文化センター開館
- 5月 鳴門-神戸間に水中翼船就航
- 7月 鴨島第一保育所新築
- 11月 新千円札発行。日米間テレビ宇宙中継受信実験成功

〈世相〉

ボウリング場繁盛・自動販売機出始める。
マンガ「鉄腕アトム」が大人気

(流行語)

「バカンス」・「三ちゃん農業」

昭和39年

- 1月 焼却炉7.5t炉完成
- 2月 上浦地区簡易水道完成
- 3月 児童館完成
- 3月 海南高校全国高校選抜野球大会優勝
- 4月 西麻植会館完成
- 7月 上浦小学校プール完成
- 10月 東海道新幹線営業開始。オリンピック東京大会開催

〈世相〉

オリンピック景気・切手ブーム・海外旅行自由化

(流行語)

「オレについてこい」

昭和40年

- 1月 森山地区簡易水道完成
- 2月 鴨島小学校体育館完成
- 10月 国勢調査人口23,138人
- 10月 朝永振一郎氏ノーベル物理学賞受賞

〈世相〉

共稼ぎによる「かきっ子」増加。エレキギターブーム

(流行語)

「公害」・「しごき」

主なできごと

昭和41年

- 2月 西尾地区簡易水道完成
- 6月 国民祝日法公布(敬老の日・体育の日)
- 8月 西麻植小学校プール完成
- 10月 通常郵便物の航空機搭載実施
- 12月 森山小学校鉄筋校舎完成

〈世相〉

いざなぎ景気・丙午(ひのえうま)で出産数、前年度比25%減。3C(カラテレビ・カー・クーラー)時代

(流行語)

「交通戦争」

昭和42年

- 1月 上浦幼稚園完成
- 2月 初の「建国記念日」
- 3月 牛島地区簡易水道完成
- 4月 広報「かもじま」発刊・地籍調査事業開始
- 4月 第10回花いっぱい大会徳島市で開催
- 5月 川真田都夫氏5代目町長に就任
- 7月 森山小学校プール完成

〈世相〉

農業人口20%を割る。ミニスカート大流行「ムチ打ち症」激増

(流行語)

「ポイン」

昭和43年

- 1月 エンタープライズ佐世保入港
- 3月 知恵島小学校校舎新築
- 5月 鴨島工業団地に長尾テキスタイル誘致
- 7月 麻植地区開拓パイロット事業着工・県民グラウンド完成
- 10月 明治100年記念式典・川端康成ノーベル文学賞受賞
- 12月 3億円事件発生

〈世相〉

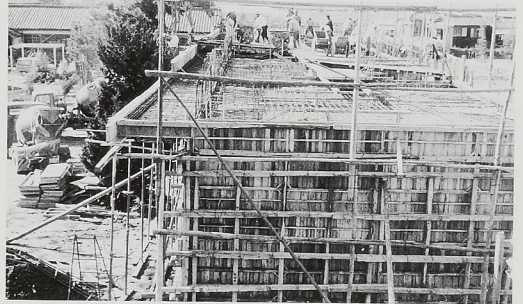
少年のシンナー遊び激増。ラジカセ商品化

(流行語)

「昭和元禄」・「ハレンチ」・タレント候補



▲完成した上浦幼稚園々舎 (昭和42年)



▲工事中の知恵島小学校 (昭和42年)

川端康成ノーベル文学賞受賞
(昭和43年)



▲開発が進む開拓パイロット事業



▼完成した県民グラウンド (昭和43年)





— 全国教育美術展 —

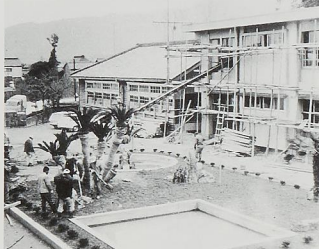
特選に12人も入賞

鴨島小 幼 功 権 伸 び 伸 び した 絵

力強い絵を描く子どもたち (全国教育美術展、鴨島小「伸び」)

「伸び」は、鴨島小の児童が、昭和44年度の全国教育美術展に特選に12人も入賞した。この作品は、児童が、伸びのイメージを、力強い筆で表現した。この作品は、全国教育美術展に特選に12人も入賞した。この作品は、児童が、伸びのイメージを、力強い筆で表現した。

▶ 着工された町道飯屋上下島線 (昭和45年)



▲ 改装中の西麻植小学校 (昭和44年)



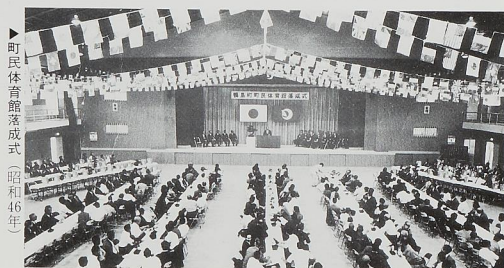
▲ 講堂を体育館に改装中の上浦小学校 (昭和45年)



▲ アポロ11号月面初着陸



▲ 「ノンキナトウサン」碑 (昭和46年)



▶ 町民体育館落成式 (昭和46年)

主なできごと

昭和44年

- 2月 全国教育美術展・特選に鴨島幼、小児童・園児ら12人が入賞
- 3月 西麻植小学校校舎完成
- 4月 農協が合併(森山除く)して鴨島農協となる
- 5月 鴨島町「町章」制定
- 6月 教職員住宅完成
- 7月 牛島小学校プール完成
- 7月 **米アポロ11号人間搭乗月面初着陸成功**
〈世相〉
クレジットカード利用者急増。冷凍食品増加
(流行語)
「あっと驚くタメゴロー」・「オー、モーレツ」。

昭和45年

- 2月 西保育所完成
- 3月 敬老年金贈与条例制定・上浦小学校体育館完成・焼却炉20t炉完成
- 3月 万博開幕・「よど号」乗っ取り事件
- 6月 飯尾上下島線着工
- 9月 中央地区広域市町村圏振興協議会発足
- 10月 国勢調査人口23,539人
- 11月 第一社会福祉大会開催・「呉郷団地」命名
〈世相〉
マイカー4世帯に1台普及。チリ紙交換屋増える
(流行語)
「ハイジャック」・「ヘドロ」・「ウーマンリブ」

昭和46年

- 3月 町民体育館完成
- 4月 町議会議員定数26人に変更・上水道事業認可・阿北消防組合設立
- 5月 都市計画市街化区域・調整区域決定
- 6月 町体育協会設立
- 6月 沖繩返還協定調印
- 7月 ノンキナトウサン碑除幕式
- 8月 インターハイ(ウエイトリフティング)本町で開催・飯尾敷地小学校プール完成
8月 **ドルショック**
〈世相〉
ボウリング人気 Tシャツとジーパン流行
(流行語)
「脱サラ」・「シラケ」・「ガンバラなくっちゃ」

主なできごと

昭和47年

- 1月 元日本兵横井庄一、グアム島で発見
- 2月 連合赤軍あさま山荘事件
- 3月 飯尾上下島線完成
- 5月 町土地開発公社設立
- 5月 沖繩本土復帰
- 7月 鴨島小学校プール完成
- 8月 「みかわ橋」命名
- 9月 コミュニティセンター完成
- 12月 上水道起工式。本年4月より2カ年で全町ゴミ収集に切り替え
〈世相〉
日本列島改造論で土地ブーム。SLブーム。
(流行語)
「三角大福」・「総括」・「あっしにはかかわりのねえことで……」

昭和48年

- 1月 70歳以上医療費無料
- 2月 知恵島小学校体育館完成
- 2月 円変動相場制に移行
- 4月 町養護老人ホーム完成
- 5月 穴吹山で大蛇騒動
- 6月 第1回五九郎まつり開催
- 10月 石油ショック
- 10月 山路不燃物埋立地供用開始
- 12月 都市計画道路及び用途地域決定
〈世相〉
ゴルフブーム・オセロブーム・ツァノコブーム
(流行語)
「省エネ」・「じっと我慢の子であった」。

昭和49年

- 4月 上水道完成
- 4月 池高「さわやかイレブン」準優勝
- 7月 台風8号により、寺谷川・三谷川・湯吸谷川・及び唐谷川が決壊
- 12月 東森藤内原線着工
〈世相〉
戦後初の経済マイナス成長。高校進学率90%を超す
(流行語)
「狂乱物価」



▲ コミュニティセンター落成式 (昭和47年)



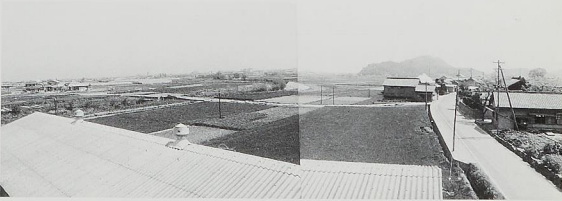
▲ 完成した養護老人ホーム「天寿荘」 (昭和48年)



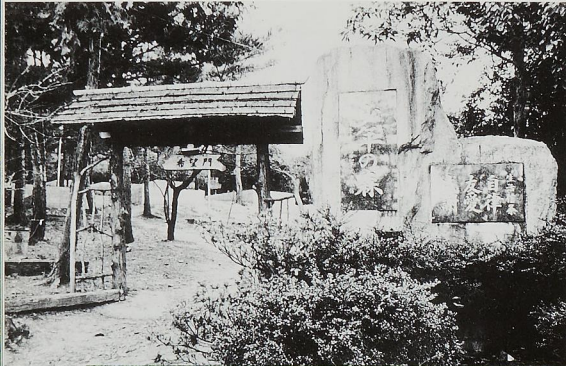
▼ 元日本兵横井庄一グアム島で発見



▲ 池高「さわやかイレブン」準優勝 (昭和49年)



▲ 改良工事前の東森藤内原線 (昭和49年)



夏になればテントの花が咲く



神島会館



王貞治本塁打世界記録



鴨島幼稚園

主なできごと

昭和50年

- 2月 完全失業者100万人突破（不況の深刻化）
 - 4月 久保農夫也氏7代目町長に就任
 - 5月 「少年の森」完成
 - 7月 知恵島小学校プール完成
 - 7月 沖縄海洋博覧会開催
 - 8月 台風6号により飯尾川・藤井谷川決壊
 - 10月 国勢調査人口24,747人
- 〈世相〉
大学生、200万人を突破
（流行語）
「あんたあの娘のなんなのさ」・「乱塾」

昭和51年

- 1月 鹿児島で5つ子誕生
 - 2月 ロッキード事件問題化
 - 7月 大鳴門橋起工式挙行
- 〈世相〉
ジョギングブーム。戦後生まれ、総人口の半数を越す
（流行語）
「灰色高官」・「記憶にございません」

昭和52年

- 3月 鴨島幼稚園・神島会館完成。環境保全条例制定。公共下水道事業認可
 - 9月 日本赤軍、日航機乗っ取り。王貞治756本の本塁打世界新記録
- 〈世相〉
平均寿命、男女とも世界一となる。カラオケ大流行
（流行語）
「落ちこぼれ」・「翔んでる」

主なできごと

昭和53年

- 2月 呉郷保育所完成・向麻山公園事業認可
 - 3月 飯尾敷地幼稚園完成
 - 5月 成田国際空港開港
 - 7月 県少年非行非常事態宣言
 - 8月 日中平和友好条約調印
- 〈世相〉
ディスコブーム。健康器ブーム。ピンクレディー人気絶頂
（流行語）
「サラ金」・「窓ざわ族」

昭和54年

- 1月 上浦老人憩いの家完成
 - 1月 第2次石油ショック
 - 3月 多津美公会堂完成
 - 4月 河野正氏8代目町長に就任
 - 6月 東京サミット（7カ国首脳会議）開催
 - 10月 老人福祉センター完成
 - 11月 ラジオ商事件、富士茂子さん死去
- 〈世相〉
インベーダーゲーム大流行
（流行語）
「ウサギ小屋」・「エガわる」・「天中殺」

昭和55年

- 3月 鴨島東中学校改築
 - 6月 史上初めての衆参両院同日選挙
 - 10月 国勢調査人口26,106人
- 〈世相〉
校内暴力、家庭内暴力事件が多発。B & Bなどの漫才ブーム。ルービック・キューブが大流行

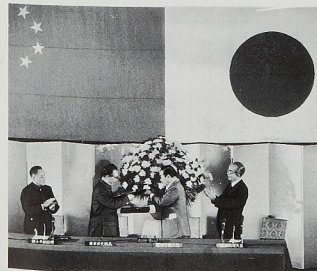


▲飯尾敷地幼稚園



▲上浦老人憩いの家

▼鴨島東中学校



◀日中友好平和条約調印



▲牛島小学校体育館



▲西麻植会館竣工



▲森山小学校体育館



▲少年の森野外活動センター



▲工場新設中の誘致企業



▶東森藤内原線渡り初め(十二輪橋)

主なできごと

昭和56年

- 3月 知恵島幼稚園改築・牛島小学校体育館完成。敷地老人憩いの家完成
- 3月 臨時行政調査会初会合
- 11月 ロッキード裁判で小佐野に実刑判決<世相>
- 宅急便、郵便小包の取扱数を抜く(流行語)
- 「ハチの一刺し」

昭和57年

- 2月 森山小学校改築
- 2月 ホテルニュージャパンで火災・日航機羽田沖に墜落
- 3月 第1回社会教育振興大会開催・西麻植会館完成
- 4月 森山農協が鶴島農協に合併
- 8月 池田高校、甲子園で初優勝
- 9月 鳴門で戦後最大の山火事
- 11月 9代目戸田稔町長が就任<世相>
- エアロビクス、ゲートボールに人気(流行語)
- 「ネクラ・ネアカ」

昭和58年

- 2月 森山小学校体育館・西麻植幼稚園完成
- 3月 少年の森野外活動センター完成
- 4月 鶴島中央工業団地造成工事着工・誘致企業(大和真空)決定
- 8月 東森藤内原線完成
- 10月 四国最大「アミコ」オープン・田中元首相に懲役4年の実刑判決<世相>
- パソコンとワープロが急速に普及(流行語)
- 「不沈空母」

主なできごと

昭和59年

- 3月 西麻植小学校改築・清掃センター(36戸)供用開始
- 4月 工業団地に(神港電機)・(徳島昭和精機)企業誘致決定
- 5月 クリコ脅迫事件(怪人21面相)
- 8月 臨時教育審議会設置
- 9月 県立神山森林公園起工式<世相>
- 写真週刊誌「フライデー」発売、FF戦争へ。キャベツ畑人形が流行(流行語)
- ◎・◎

昭和60年

- 2月 勤労者体育センター完成
- 3月 牛島公民館・内原老人憩いの家・上浦小学校改築
- 3月 科学万博開幕
- 4月 NTT・日本たばこ産業発足
- 6月 大鳴門橋開通
- 7月 徳島ラジオ商事件、富士茂子さん無罪判決
- 8月 日航ジャンボ機、群馬県山中に墜落4人生存、死者520人
- 10月 国勢調査人口26,800人<世相>
- 小中学校で「いじめ」が横行。ファミコンブーム(流行語)
- 「タッチロール」・「金妻」



▲大鳴門橋開通



▲西麻植小学校



◀清掃センター



◀勤労者体育センター



◀上浦小学校



▲町をきれいにするのは住民の手で
「レッツ・クリーンデー」。

▼敷地公会堂



▼飯尾敷地小学校



主なできごと

昭和61年

- 3月 中央保育所改築。町の木「くす」・町の花「きく」に決定。
- 4月 明石海峡大橋起工式。
- 5月 チャールズ皇太子夫妻来日。
- 5月 住民参加の「レッツ・クリーンデー」の設置
- 6月 県新庁舎落成。
- 7月 史上2度目の衆参同日選挙。
- 9月 土井たか子女史、初の女性党主。
- 11月 伊豆大島大噴火、全島民が避難。

〈世相〉

円高。エイズ患者増加、社会問題となる。

(流行語)

「新人類」・「究極」・「ブッポン」。

昭和62年

- 3月 飯尾敷地小学校改築・敷地公会堂完成。
- 3月 雇用促進住宅誘致内定。
- 4月 町議会議員定数22人に変更。

▼明石海峡大橋起工式

●祝 本州四国連絡橋明石海峡大橋起工



鴨島と語る

町村合併後、町政を担当してこられた方々に
 当時をふり返り、
 思い出を綴っていただきました。

二代町長 河野 進氏

(S 30・10～S 34・3)



昭和30年10月から昭和34年3月まで、合併後間もない時期の町政を担当させていただきました。当時は、全国にも多くの町村が、財政難に直面し、財政再建に取り組んでいました。鴨島町もその例外ではなく、財政を再建する必要にせまられておりました。私は当時の財政を自主

的に再建するため、昭和31年度を初年度とする5カ年の再建計画を樹立し、行政組織の合理化、職員配置の適正化、事務処理の効率化等に努めたところです。

苦しい財政再建中ではありましたが、教育施設の整備には特に力を入れました。現在も強く記憶に残っているのは、全国でも珍しい町立の高校「鴨島商業高校」の創立に伴ういろいろな出来事、再建指導の任にあつた自治省の職員と厳しい議論をしたこと、用地を確保するため、関係機関や関係者との交渉に奔走したことなどです。また、鴨島商業高校が県立に移管されたときには、県議会議員として協力することができました。鴨島商業高校の創立、役場庁舎の竣工、知恵島の合併を記念して、小学生の旗行列を行ったことや、

賑方式にしたことなども思い出されます。

町道東森藤内原線の用地買収交渉、江川・飯尾川の改修問題なども、今ではなつかしい思い出の一つとなっています。

昭和50年ごろ、温州みかんやはずは、農家に多くの収入をもたらしておりましたが、今では、それらの樹を倒さなければならぬ時代になっていることに思いをいたすと、世の中の移りかわりの激しさを心にズシリと感ずる今日このごろです。

十年前に比べ、社会・経済の動きが激しくなっております中で、鴨島町が時代の荒波を乗り越え、今後ますます発展するよう心から祈念いたしております。

元助役 後藤 泰雄氏

(S 45・10～S 57・9)



昭和42年5月に就任した川真田郁夫町長は、鴨島こそ吉野川中流

ラジオでNHKのどじまんを鴨島小学校の講堂で行ったこと、麻植塚に簡易駅を設置してもらうため、石井町（下浦駅）の設置を要望していたこと、合同で高松へ陳情に行ったこと、都市計画事業の予算獲得のことなどがなつかしく思い出されます。

昭和32年に誘致に成功した鴨島電報電話局（現NTT）についても、高松から愛媛県の高浜までは船で、また上陸してからはチンチン電車を乗り継ぎ四国電気局へ強引とも言える陳情、交渉を行ったことが鮮明に記憶に残っています。最後に若き日に町政を託されたものとして、鴨島町の合併35周年を心からお祝いするとともに、今後の発展を心からお祈りいたします。

七代町長 久保農夫也氏

(S 50・4～S 54・4)



近隣7カ町村からなる中央広域圏の中核都市として、常備消防をはじめ、中央広域共通の行政問題について、一部事務組合を設立し、広域的な行政に取り組むことになった。さらに町長は一歩進めて関町村の合併、新市制による行政の実現に向けて努力していたが、任期途中健康を害し、二期目末で退任されることになった。

初代町長(高)

阿部 永一氏

(S 29・5～S 30・10)



私は昭和50年4月から4年間、町政を担当させていただいた訳ですが、町長に就任するまでの三期、町議会議員として町政にかかわりを持っていたこと、町長の職務にあまりとまどうことなく入っていくことができました。最初の2年間は前町長の仕事の継承、発展に努力し、残りの2年間は私の信念である「時かない種は生えない」というモットーのもと、事業の積極的な推進を図りました。議会も、私の施策に対し是々非々の立場で協力していただきスムーズに事業の展開を図ることができました。今、記憶に残っている事業には、山路の不燃物埋立地の供用開始、知恵島小学校のプール、鴨島幼稚園及び飯尾敷地幼稚園の園舎新築、呉郷保育所の設置、上浦老人憩いの家建設、中央公民館・老人福祉センターの落成、鴨島第一中学校の校舎改築、公共下水道事業の認可、向麻山都市公園の認可などがあります。また、議会での活発な議論を経て制定した環境保全条例、さらには、町役場内に案内係を設置したこと、電話交換手を廃止しビル電話を導入したこと、印章証明を手

私は、川真田町長時代（昭和45年10月から）助役として仕えましたが、非常に忙しく充実した日々でありました。

川真田町長をしのびつつ鴨島町の合併35周年を心からお祝いするとともに、豊かで、明るく、住みよい町政を創造し住民の一致協力のもと、今後ますますの発展を祈念いたします。

5代町長(高)

川真田郁夫氏

(S 42・5～S 46・4)



3代町長 堀江 安一氏

(S 34・5～S 42・4)



8代町長 河野 正氏

(S 54・4～S 57・10)



庁舎・鴨島の玄関 今昔



今

庁舎



鴨島駅前



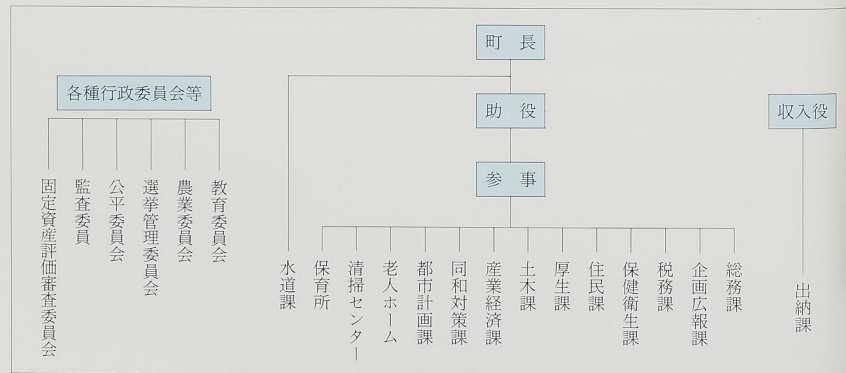
昔



まちづくりの究極的な目的は、すべての住民が健康で、いきいきと生活できるまちを築くことにあります。そのためには、住民の「生活の場」としての住みよい魅力ある地域社会の創造、「生活の種」としての安定した豊かな産業基盤の確立、そして「生活の指針」としての生きがい対策等に、住民の理解、協力、参加を得て取り組んでいくことが必要不可欠です。



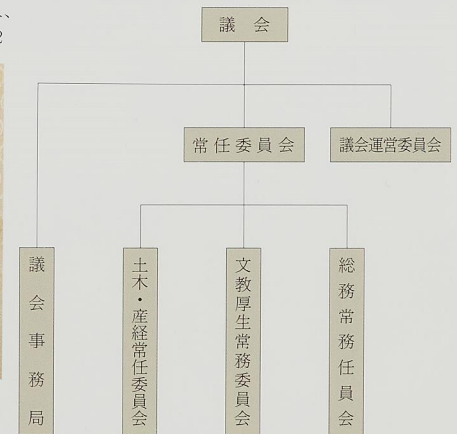
助役／乾清介・町長／戸田稔・収入役／河野清



町議会は、町民の選挙によって選ばれた議員を構成員とする合議体であり、町の重要な意思を決定する機関です。ここでは、いろいろな問題について議論、条例、予算を審議し、決定します。合併当初82人あった議員定数も、昭和30年には30人、昭和46年には26人、昭和62年には22人となり現在は22人で運営されています。



議長／治田寛・副議長／明石勝



わたしたちは、今……

うるおいと 安心のある生活

家族みんなが健康で、楽しい生活をしたい。これは、すべての人々の願いではないでしょうか。
みんなが健康であるためには、一人ひとりの注意も大切ですが、周囲の環境や、安心できる生活の確保も大切です。



▲予防接種



▼国立療養所徳島病院



▲親と子の料理教室

◀股関節脱臼検診



▲テニス (向麻山公園)

▼夜間ソフトボール (東中学校グラウンド)



▼お茶会 (中央公民館)

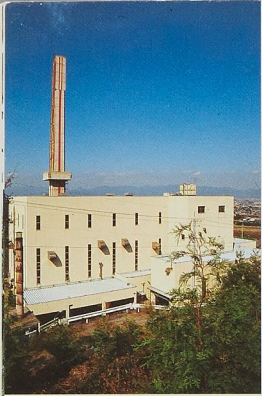


▼おかあさんの子育て学級 (中央公民館)



わたしたちは、今……

生活環境



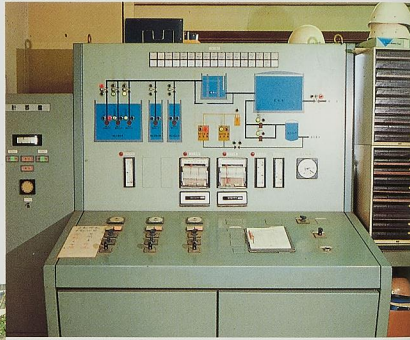
▲清掃センター

日常生活を便利で 快適にするために

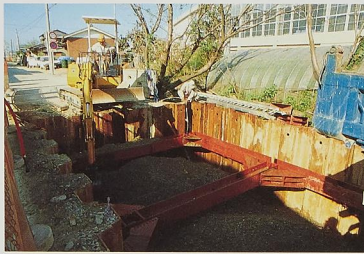
緑豊かな環境を生かし、緑とふれあい憩うことができる公園の整備や道路の改良を推進しています。また、おいしい水の安全供給、より快適で明るい町づくりをめざして、公共下水道の整備などを促進しています。



▼町道東森藤内原線

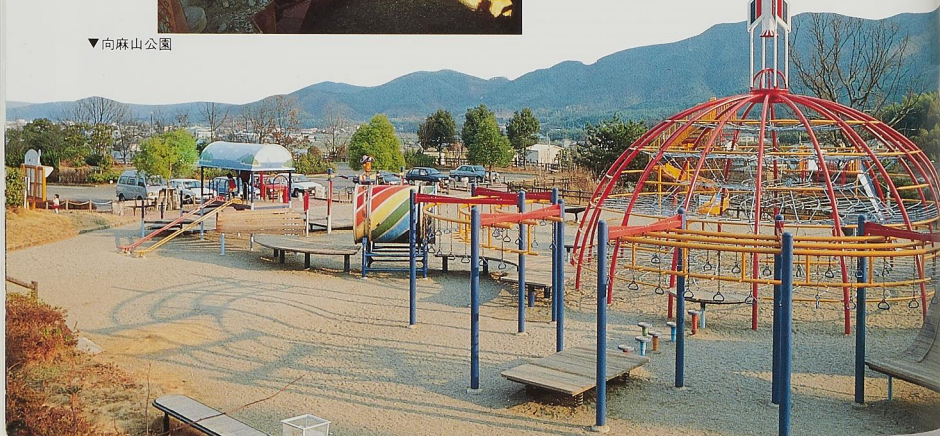


▲上水道配水施設



◀着々と進む公共下水道工事

▼向麻山公園

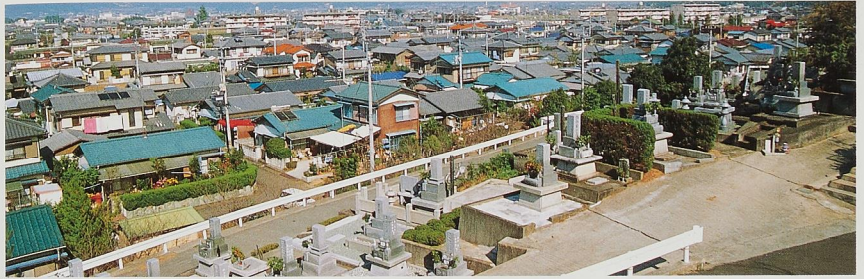


町内量販店

衣料品コーナー▲



▲食料品コーナー



▲呉郷団地

▼町並み (国道192号線沿い)



▲鴨島郵便局



交通の拠点 (JR鴨島駅) ▶



衣・食・住 そしてネットワーク

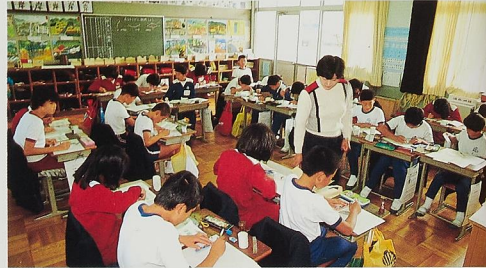
わたしたちは、今………

生活環境

心豊かな人間性を めざして

明日を担う子どもたち一人ひとりが、心身ともに健全で、人間性豊かに育つよう、学校教育の充実、教育環境の整備を進めています。

▼授業中（森山小学校）



授業風景

プール▶



▲上浦小学校



▲少年野球



◀少年剣道教室（武道館）

▼一中女子ソフトボール部



スポーツ活動

▼一中新体操部



わたしたちは、今………

ふれあいと教育(学校編)

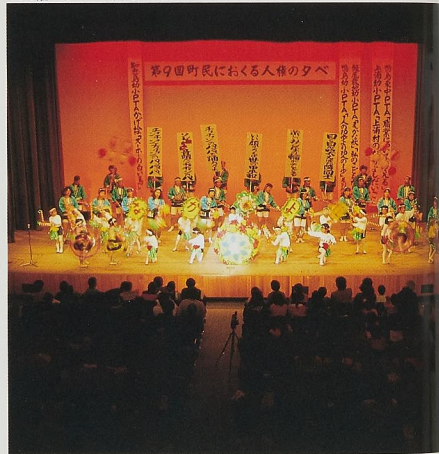
明るい地域づくりをめざして

▼寒風について駅伝大会



社会福祉と社会教育の充実をめざして、日常生活に根ざした諸活動を実施し、ふれあいのある町づくりに努めています。

▼人権の夕べ（中央公民館）



▼新鮮な野菜などを直売する主婦たち



▼毎年、演奏会を開いて好評を得ている男性合唱団「ロマンスエーロ」



▼総合美術展（町民体育館）



▲グランドゴルフを楽しむ入所者

老人ホーム厨房▶



◀老人体育大会（一中グラウンド）



▲機能回復訓練（老人福祉センター）

医療の進歩や食生活の改善などにより、高齢人口は年々増加しています。

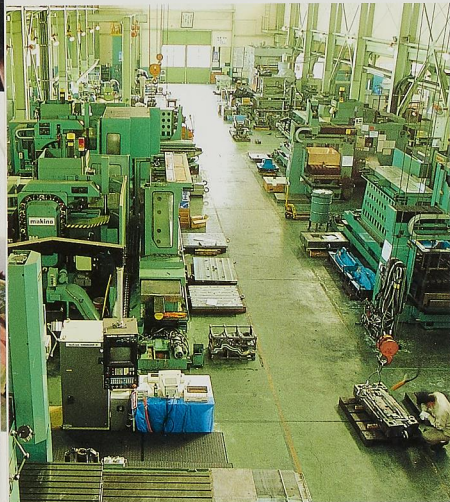
すべての老人が明るく健康で、やすらぎと、生きがいのある生活が営めるよう、きめ細かい福祉施策を行っています。

やすらぎと生きがいの ある生活を……

わたしたちは、今……

ふれあいと教育(社会編)

企業誘致による 産業の活性化



▲徳島昭和精機工業㈱工場内部

本町は藍や製糸などで栄えてきた町ですが、時の流れとともにその様相は大きく変わりました。
商業の町としての伝統は確実に受け継ぎながらも、その一方では、中央工業団地を核とする公害のない企業誘致を実現させ、産業の活性化に努めています。



▲神港電機計器製作所製造・工業計器



▲大和真空工業所徳島工場内部



▲日新デニム㈱工場内部



△中央工業団地（向嶺山から望む）

わたしたちは、今……………

産業・経済

大地に生きる

転換期を迎えた農業の健全な発展を考えると、地域に定着した特産作物の開発は、今後の大きな課題となっています。

▼野菜の出荷作業（牛島）



▶ハウナス取種作業（西麻植）



▲ハッサクの共同選果作業（鶴島農協森山支所）

▼ダイコンの出荷作業（牛島）



わたしたちは、今………

産業・経済



わたしたちも35年

活気ある鴨島町を

昭和29年酒店開業

藤原 杉男^{さん}

昭和29年に開店以来、鴨島町の発展と共に順調に業績を伸ばしてきてことができました。

これもひとえに皆様方のご愛顧のたまものと心より感謝いたしております。

開店当時は振りかえってみますと、店のまわりに住宅は数軒しかなく、ほとんどが麦畑や桑園でした。また、道路事情も今は大違いで、自転車で配達するの



▲家族とともに



▲盛んであった菊人形



▲開店当時の藤原さん

もひと苦労する道路ばかりでした。

その後映画館やパチンコ店ができ、商店や住宅が増え鴨島の中心地として一時代を築きましたが、現在は駐車場などに变身し、私の店のまわりは飲食街となつてつあります。

時の移りかわりは早く、今では私も商売を息子に任せ、孫の守をしながら時折商売の相談相手になっている今日このごろです。

今一番心に思うことは、車社会の今日ではありませんが、やはり、徳島市や池田町のように駅を中心とした“商売人の町、の復活です。

昔、有楽座で菊人形が開かれていた時のような“活気ある鴨島町、を今一度見たいものです。

わたしと鴨島

昭和29年材木店開業

木村 弘一^{さん}

昭和29年3月、鴨島町・牛島村、森山村・西尾村が合併し、新しい鴨島町いしずまの礎となりました。本町が合併し35年を迎えることとなりますが、私の35年も振り返ってみたいと思います。

昭和29年は、戦後復興の第一歩を歩み始めた年であり、吉野川中央部に位置する鴨島町が、徳島の穀倉地帯として、また、交通経済の要所として重要視され始めたのもこの頃です。

昭和24年、4年間のシベリア抑留生活を終え、夢にまで見た祖国日本、その舞鶴に上陸したときの喜びが、今も脳裏に焼き付いています。

帰国してしばらくは、為すすべもなく、ただぼろ然としていましたが、昭和25年に木材会社に就職し、徳島・高知の山中を歩き木材調達の仕事をしました。

その後、木材関係の仕事に携わっていたこと、これからの復興には木材が必要なことなどを考え、昭和29年4月、独立して材木店を栄通りに開店しました。

この頃の栄通りは人家が三軒ぐらいしかなく、バスも朝夕二回走る程度の寂しい町並みでした。

私はリヤカーに材木を積んで土成町方面まで配達を続ける毎日でした。辛く苦しい日々が続きましたが、その後、戦前の古い建物の建替えが始まり、木材の需要が急速に伸び経営も順調に進み、生活も何とか安定するようになりました。



▲仕事仲間とともに(左端)



▲家族とともに

しかし、良い事ばかりは続きませんでした。開店して十年目の昭和39年3月、火災によりそれまで積み重ねてきた実績や財産が、一瞬にして灰と化してしまったのです。

私は運命のいたづらを憎みました。しかし、ここでくじけてはいけない、ここで頑張らなくてはと自分に言いかけせ、再建の道を探りました。

ちょうどその頃、本町でも日本列島改造論による住宅ブームが始まり、木材需要が増えつつあり従来のような営業活動ができると判断、店舗を交通の便が良くもっと広い場所に移転することにしました。それが現在店舗のある上下島でした。

住宅ブームは思ったより長く続きませんでした。昭和49年頃からのオイルショックの波をまともに受け、経営状態は最悪にまで落ち込んでしまいました。

“幾多の苦難を乗り越えて明るいう未来が開けてくるのが人生、と聞きますが、まさにそのとおりだと痛感しました。

「商いあきな」はますます難かしい時代を迎えると思いますが、新しい知識とセンスを生かした経営こそが生きて道ではないでしょうか。

記念誌の発行にあたり、とりとめのない文章で、私の考え方や思い出を書かせていただきました。

最後に鴨島町の益々のご発展と、町民のみなさんのご多幸をお祈り申し上げて筆を置きます。



▲開業当時の店舗

私の35年

飯尾 昭和29年3月31日生まれ

原 浩美さん



▲お母さんに抱かれて

鴨島町35周年の記念誌に投稿依頼を受け、光栄に思っています。

私は、昭和29年3月、鴨島町が合併した日、農家の長女として牛島に生まれました。生まれた時は、祖父母も健在で総勢十二人の大家族で、とてもにぎやかでしたが、生活は貧しい時代だったそうです。

専業農家で、米、野菜のハウス栽培などをしていましたが、時の流れに伴い、父は出稼ぎに行くようになり、母は田畑と酪農をするようになりました。

父も母も朝早くから夜遅くまでよく働きました。ですから、小さい時は、おじいちゃん子でよく祖父に近所を連れ歩いてもらっていたようですが、私が小学校一年生の時に亡くなりました。

私の通った牛島幼稚園は新しく鉄筋に建て替わり、講堂も体育館として生まれ変わっています。

でも、校舎は昔のままです。卒業してから学校へ行くことはありませんが、里へ行くたびに前を通り、懐かしく思っています。幼稚園のおもちつき、小学校の運動会や遠足など思い出はたくさんあります。

教えていただいた佐藤先生、鈴木先生は、お元気でしょうか。小学校の同窓会があったらなあと思います。つぎに、私の職場のことについてお話しします。

昭和47年、阿波銀行に入社し、今年で17年目。貸付係や出納係などいろいろ経験してきましたが、現在は、女子渉外という仕事についています。

女子行員の外勤と言えばお分かりいただけるでしょうか。

女子渉外としてやがて一年になりますが、内勤時には分からなかった「来店いただくお客様のありがたさ」、「男子渉外の苦勞」などが今まで以上に理解できるようになりました。

顧客サービス中心の渉外には、ソフトムードの明るい対応と気配り、そしてお客様のニーズに応えることが必要です。そして、女性には特有の明るさと、気配りがあります。

その意味においても、女子渉外はこれからますます増えるのではないかと思います。

この仕事は（他のセールスも同じだと思います）まず、自分の顔を知っていたかなくてはなりませんから、何度となく足を運びます。まして、新規訪問ともなれば断わられてもともとと思いき、勇気を出して明るく元気な声をモットーに、お客様の自宅に伺うことにしています。

そして、勉強と努力を重ね、地域に貢献できる女子渉外になりたいと考えています。

女子渉外を見かけたら「がんばってるで」と気やかに声をかけてください。

最後になりましたが、鴨島町の今後ますますのご発展を、心からお祈りします。



▲野の花に囲まれて

私は鴨島とおない年

上浦 昭和29年4月1日生まれ

高尾 善蔵さん



▲S32年 二歳・すました顔で…

現在の鴨島町が私の生まれた時に「誕生、したことを聞き、驚きと感激でいっぱいです。

私の成長と鴨島町の発展…。同じ歩みであり、これからもまた同じであることを考えると、何か楽しい気持ちになります。

今、鴨島町は、活力とるおいの町づくりを目指していますが、私は、十年余り勤務した農協を退職し、花（洋蘭）の栽培に挑戦しています。学生時代から

の夢であった花の栽培。花の成長を見ることは楽しく、うれしいことです。近年、農業に従事する若者が全国的に少なくなっていると聞きます。私たちの町でも同じことが言えるのではないのでしょうか。これは、農業そのものに魅力がないと考えている人が多くなったからだとは思いますが。

そんな農業への道を私が選んだ理由は、学生時代から農業にかかわりを持っていたことと、花の栽培に今までにない農業の魅力を感じたからです。

脱サラし、花（洋ラン）の栽培を始めた頃は、ゼロからのスタートだったので苦勞の連続でした。しかし、私自身が決めた私の人生なので、これからも精



▲S38年 自転車に乗れるようになりました。

一杯頑張っていくつもりです。

最後になりましたが、私とおない年の鴨島町が、今後ますます発展することを心からお祈りします。



▲S46年 北海道西川牧場で農業研修。この頃から将来のことに考えるようになった。

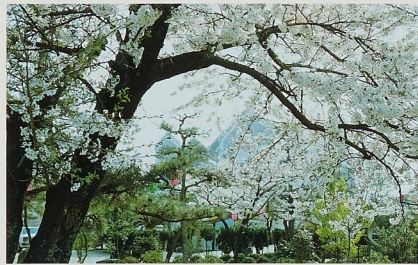


▲S56年 四月に結婚。以前から考えていた人生の設計図が固まる。



▲現在 かねてからの計画どおり脱サラし、蘭の栽培に挑戦。

まちががむま
プリマム



▲春の鴨島公園

▼鴨島の玄関 JR 鴨島駅

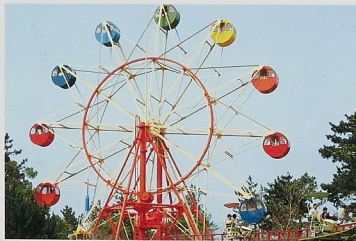


至土成

▼勤労者体育センター



▲向麻山から望む中央工業団地



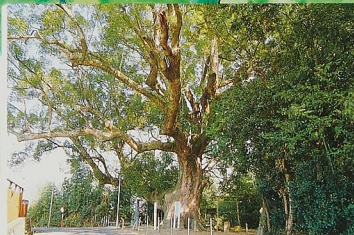
▲吉野川遊園地



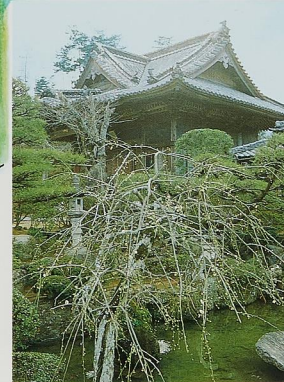
▲向麻山公園



▲四国霊場11番札所 (藤井寺)



▲県指定天然記念物「嶺の大クス」



▲玉林寺



▲さくらまつり
鴨島公園一帯では、桜の花が咲き乱れ、夜ともなれば花見客であふれます。(3月下旬～4月中旬まで)



▲各種総会を開催
自治会、婦人会、町PTA、町子供会など各種連合会の総会が開催されます。



▲五九郎まつり
映画「ノッキナトウサン」の主演に抜てきされた本町出身の喜劇俳優、曾我廼家五九郎の至芸をたたえて開かれています。(6月29日～30日)



▲阿波おどり
JR鴨島駅前中央通り特設会場などで実施され、8月14日～16日までの3日間、カネ・太鼓・よしこのばやして浮かれます。

か も じ ま の 四 季



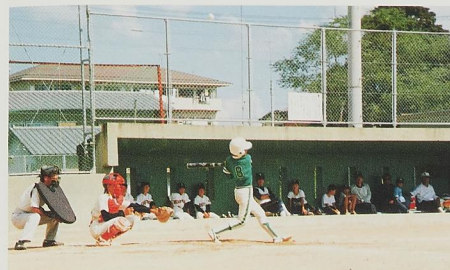
▲町総合美術展
町内で美術活動をしている方々から、バラエティーに富んだ作品が出品されます。

春

- ◎ さくらまつり
- ◎ 自治会連合会等総会
- ◎ レッツ・クリンデー
- ◎ 消防団入退団式
- ◎ 小中学校入学式
- ◎ 町総合美術展
- ◎ さつき展

夏

- ◎ こくろうまつり
- ◎ 納涼花火大会
- ◎ 阿波おどり
- ◎ 親子ふれあい木工教室
- ◎ 採取物に名をつける会



▲スポーツの秋
本町ではスポーツがさかんです。特に少年の野球、サッカー、剣道など、スポーツにかける情熱はおとな顔負けです。

秋

- ◎ 敬老大会
- ◎ 菊人形展
- ◎ かもじまつり
- ◎ 秋祭り
- ◎ 合同慰霊祭
- ◎ 人権の夕べ
- ◎ 町社会福祉大会
- ◎ 各地でスポーツ大会
- ◎ 親と子の歩け歩け運動
- ◎ ゲートボール大会

冬

- ◎ 成人式
- ◎ 消防団出初め式
- ◎ 文化財防火訓練
- ◎ スポーツ少年団駅伝大会



▲ゲートボール
町内各地に設置されているゲートボール場では、朝早くからスティックの音が響きます。



▲町民におくる人権の夕べ
「一人の百歩より、百人の一步」を合言葉に、町民一人ひとりが差別解消をめざします。



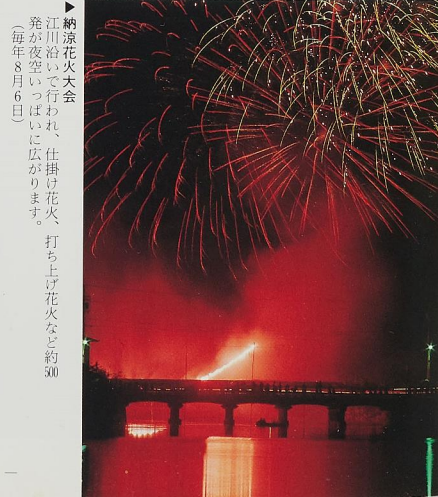
▲親と子の歩け歩け運動
深まる秋を感じながら、歩きます。(子供会連合会主催、11月下旬開催)



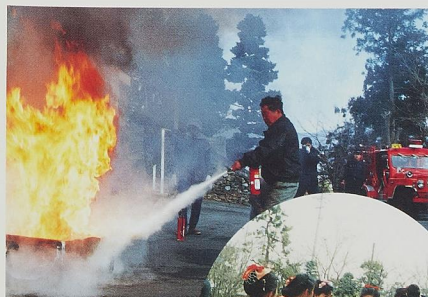
▲町消防団出初め式
鴨島町消防団(18分団)すべてが参加し、「一年間の火の守り」、この決意を新たにします。

成人式

国民あけて、新成人を祝福する日です。鴨島町でも、厳粛なかにも、ほのぼのとした式典が開催されます。



▲納涼花火大会
江川沿いで行われ、仕掛け花火、打ち上げ花火など約50発が夜空に広がります。(毎年8月6日)



▲文化財防火訓練
貴重な文化財を守ろうと、毎年文化財防火デーにちなんで実施されます。



うるおいのある町に



鴨島東中学校 3年
鈴木 順子さん

鴨島町は今、「活力とうるおいの町」づくりを推し進めているようですが、私はこの「活力とうるおいの町」という言葉

が大好きで誇りに思っています。そして、それを推し進めることによって、こんな町になってほしいと思うのです。

現在の鴨島は商業の町です。たくさんのお店があり、町内だけでなく川島町、石井町、吉野町からもたくさんのお客が来ています。そういう面では、鴨島町は「活力のある町」といえると思います。しかし、たくさんのお客があふれているだけでは「うるおいのある町」とはいえません。「うるおいのある町」とは、私たち町民の一人ひとりの生活が大切にされていると感じることができる町づくりだと思います。

心にうるおいを持てる施設がもっともっと必要なのではないのでしょうか。今年できる文化研修センターなどは、とてもいいと思います。文化関係の行事をたくさんして、誰もが参加できみんなで文化を育てることができるとよいと思います。

私は今年の夏休み、脇町へ「うだつ」を見に行きました。脇町は古い街並みがとても大切にされ、新しくできた学校の校舎にも、うだつがあがっていました。町の図書館もそういう創りで、こんな所なら毎日でも来て本を読みたいと思いました。

私達の町にある鴨島中央公民館は、藍倉風の建物です。私はこの建物を中央橋の方から見ると、私たちの町だという気になります。やはり、私たちの町を象徴するものを作り、その町の色を人々に印象づけるのは大切だと思います。

鴨島町は、山や川の自然に恵まれています。ですから、自然を生かして大切に利用しなければいけないと思います。それにはまず、江

川や吉野川を美しく保つことです。その方法としては、下水道を整備して、いこいの場を作ってはどうか。そして、もっともっときれいな家庭排水を出すこと。広報紙や広報車で強く訴える必要があります。ゴミや廃棄物をきちんと処理し、タレ流しや公害を防ぎ、地下水を泉や噴水、飲み水として利用したいものです。

山や川、そして緑に囲まれた私のふるさと鴨島。藍や蚕の伝統と菊の香りに包まれた鴨島。物や施設だけでなく、奉仕の精神に満ちて、子供やお年寄りが心豊かに安心して暮らせる。そんな「活力とうるおいの町」を計画的につくることが私の理想です。



私の好きな町

江川 私の願い



鴨島第一中学校 1年
瀬尾あかねさん

川。ナイル川。アマゾン川。黄河……。有名な川はたくさんあるけれど、私の好きな川は、「江川」世界に響くほど有名

ではないけれど私はこの江川が大好きだ。

江川は私の家の前の坂をおりたところに流れている。今ではすっかり汚れてしまって水がよどんでいる。けれど、江川を見ると幼ないころの数えきれない思い出が、まるで清らかな水のようにあふれだしてくる。

幼ないころ、夏休みになると近所の友だちと連れだって江川へ遊びに行った。冷たい水に足をひたしてはしゃぎまわった日。群れをなして泳ぐ魚が日増しに大きくなるのを、橋の上からのぞきこむ楽しさ。夕方には月見草がまぶしく花を開き、おしろい花もつられて真っ赤な色を浮き出した。本当にきれいだったことを今でも思い出す。

二年前、私は江川の水温異常現象に興味を持って研究を始めた。1月から8月まで毎日水温を計りに行った。春夏秋冬、江川は季節ごとに表情を変え水をたたえていた。そんなことも自分の目で見る事ができた。

「水温異常現象」これは夏水が冷たく、逆に冬水が暖かいという不思議な現象である。計った水温の記録を気温と並べてグラフにしてみると、その不思議さが手に取るようによく分かった。その異常現象からできる「川霧」幻想的で美しい現象、まるで絵に描いたような風景である。湯気のようにたちこめる霧。向こうの景色がその霧でぼんやりかすみ、何ともいえないすばらしさだった。

こんな思い出や、天然記念物にもなった現象にふれて今いちばん思うこと、それはもうこれ以上「江川」を汚してはいけないということだ。そして、昔、父母がよく泳いだという美しい江川を、もう一度取り戻したい。

その美しさを大事な遺産として、次の世代の子供たちに残してやりたい。かれんな草花の咲く川岸をもうこれ以上コンクリートなどでぬりかえないでほしい。私の思い出が粉ごに散ってしまうから。

樹木を植え、あの川岸をもっと美しくしてほしい。川を見てみんなが安らぎふれあえるそんな、そんな川岸になればと思うのである。

近い将来、鴨島町はさらに発展しているかもしれない。しかし、この江川だけは今のままで、いやもっと美しい姿で残っていてほしい。それが私の願いだ。

ふるさとを紹介するとき、私はきつこういうだろう。「私のふるさと鴨島には、江川という美しい川が流れています」……と。

美しい川のある町、それが私の理想です。

子供たちに
夢を与えて
あげたい。





町の花「きく」



町の木「くす」